



## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

## 1. マーケット・レート

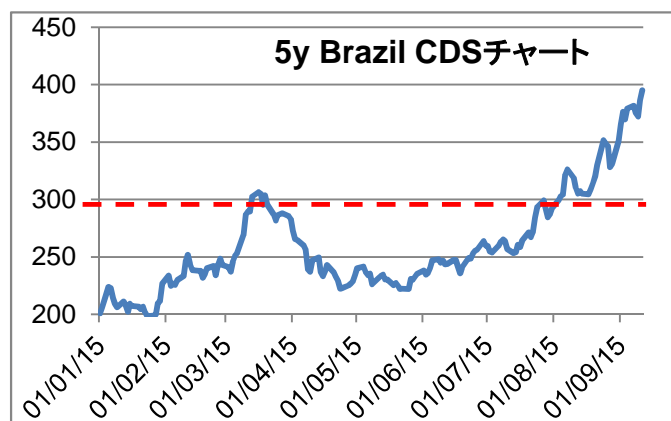
			9月4日	9月8日	9月9日	9月10日	9月11日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3,8430	3,8200	3,7800	3,8490	3,8700	+0,0210
	BRL/JPY	Spot	30,98	31,36	31,89	31,33	31,16	-0,17
	EUR/USD	Spot	1,1137	1,1202	1,1209	1,1279	1,1338	+0,0059
	USD/JPY	Spot	119,01	119,82	120,52	120,64	120,59	-0,05
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	14,67	14,66	14,39	14,54	14,76	+0,2212
	Future	1Year(p.a.)	15,01	14,91	14,91	15,23	15,14	-0,0933
	On-shore	6MTH(p.a.)	2,827	2,746	2,672	2,740	2,886	+0,146
	USD	1Year(p.a.)	3,977	3,904	3,777	3,876	3,886	+0,010
株式	Bovespa指数		46.497,72	46.762,07	46.657,10	46.503,99	46.400,50	-103,49
CDS	CDS Brazil 5y		382,00	375,50	372,12	386,00	395,30	+9,30
商品	CRB指数		196,699	198,387	195,795	198,007	196,721	-1,286

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

## 2. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は3.8090で寄り付いた。
- 週初めは中国政府の支援策が市場の混乱を止めるとの観測が強まり、中国を中心にリスク資産の買いが入ると世界的な株高となった。レアルは寄り付き後買いが優勢となったほか、伯仲銀はドル売り介入に似た形のドル建て融資の提供を行いドルの流動性を増やしたことを受けて、3.7800まで買われる展開となった。
- 翌9日にはルセフ大統領が財政調整のためには所得税の上げも考えるべきであるとコメントしたことが好感された結果、レアルは週間高値となる3.7670を付けた。マーケット時間終了後に景気低迷でルセフ大統領の財政収支の改善への取り組みが一段と困難になっていることを理由に米格付け会社スタンダード・アンド・プアーズ(S&P)はブラジルの格付けをジャンク級に引き下げた。ブラジルの格付けは1段階引き下げられて「BBプラス」となったほか、見通しは「ネガティブ」にされた。
- 10日には前日の格下げを受けてレアルは一気に週間安値となる3.9060を付けた。しかし格下げが既に見込まれていたせいか、レアル安は長続かずじりじりと3.8400まで反発した。
- 週末にかけては、米FOMCを控えてリスク資産の売りやドルが対主要通貨で買いが優勢となると、レアルは3.89台前半まで売られ、結局3.8490でクローズした。

## 3. 今週のチャート&amp;ハイライト



出所:Bloomberg

### ブラジルクレジットデフォルトスワップ(CDS)が2009年以来の高水準に到達

今週9日に米格付け会社スタンダード・アンド・プアーズ(S&P)はブラジルの格付けをジャンク級に引き下げた。ブラジルの格付けは1段階引き下げられて「BBプラス」となった上に、見通しは「ネガティブ」に据え置かれた。CDS市場ではブラジルは既に他の投資不適格級の債券を上回る300ポイント以上のレベルで取引されていたが、直近では370ポイントで推移していた。格下げ後は更に上昇、11日には高水準を更新、395ポイントまで上昇した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さい。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は、著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面上より許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista

## 4.来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.70－4.00

今週は突然のS&Pによる格下げが市場ではサプライズとなった。しかしレアル相場へのインパクトは限定的となった。9月に入り、レアルは既に下落していたことから将来の格下げを見込んで前々からレアル売りをしていた投資家が多く見られたためと思われる。しかし、利食い一巡後は再び売りに出る投資家もいると予想され、レアル売りはまだ続くと思われ、4.000まで売られてもおかしくない。その他、格下げを受けて政府が9月末までに新たな財政調整計画を発表する予定であり、レヴィ財務相がどのようなコスト削減案や増税案を提出するのかが注目される。新たな格下げの可能性は十分に残っており、レアル相場は財政調整の展開に大きく左右されるだろう。来週の主なイベントとしては海外では米FOMCが開催され、9月に利上げが行われるか注目される。市場参加者の大半は9月には利上げの可能性が低いと予想しているが、FOMC終了後にイエレンFRB議長の記者会見もあり、コメントが市場の動向を決めるだろう。

## 5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	FIPE CPI-週次	0.47%	0.50%	0.67%
ブラジル	PPI 最終需要(前月比)	-0.1%	0.0%	0.2%
ブラジル	PPI (除食品・エネルギー、前月比)	0.1%	0.3%	0.3%
米	PPI 最終需要(前年比)	-0.9%	-0.8%	-0.8%
米	PPI (除食品・エネルギー、前年比)	0.7%	0.9%	0.6%
米	ミシガン大学消費者マインド	91.1	85.7	91.9
米	月次財政収支	-\$73.5B	-\$64.4B	-\$128.7B

## 6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	9/14	貿易収支(週次)	Sep 13	--	\$554M
ブラジル	9/14	登録雇用創出合計	Aug	-74.800	-157.905
ブラジル	9/15	FGVインフレ率IGP-10(前月比)	Sep	0.57%	0.34%
ブラジル	9/15	税收	Aug	99500M	104868M
ブラジル	9/16	FGV CPI IPC-S	Sep 15	0.25%	0.21%
ブラジル	9/16	小売売上高(前月比)	Jul	-1.0%	-0.4%
ブラジル	9/16	小売売上高(前年比)	Jul	-4.0%	-2.7%
ブラジル	9/16	広義小売売上高(前月比)	Jul	-0.3%	-0.8%
ブラジル	9/16	広義小売売上高(前年比)	Jul	-7.8%	-3.5%
ブラジル	9/17	IGP-M Inflation 2nd Preview	Sep	0.65%	0.17%
ブラジル	9/17	経済活動(前月比)	Jul	-0.40%	-0.58%
ブラジル	9/17	経済活動(前年比)	Jul	-4.60%	-1.20%
米国	9/17	FOMC政策金利(上限)	Sep 17	0.50%	0.25%
ブラジル	9/18	FIPE CPI-週次	Sep 15	--	0.50%
ブラジル	9/18	CNI産業信頼感	Sep	--	37.1

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さい。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。